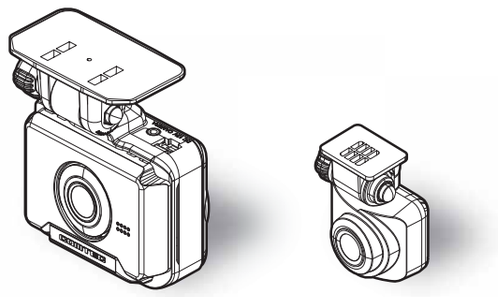
ドライブレコーダー

ZDR043

取付説明書／取扱説明書／保証書



事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。

お買い上げ時の設定では、液晶表示は安全運転の妨げとならないように、起動後速度 10km/h 以上で走行すると非表示に切替わります。

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本書は取付けおよび操作手順について記載してあります。
正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。
お読みになった後は、いつでも見ることのできる所に保管してください。
なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、
大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）でmicroSDカードの抜き挿しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キースイッチをOFF後、本製品のLEDが完全に消灯したことを確認し、microSDカードの抜き挿しを行なってください。

⚠ 警告

⃠	異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
⃠	運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
⃠	エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
❗	microSD カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。
❗	取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

⃠	気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
⃠	本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
⚠	本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。 ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。 ・湿度が高い所やほこりの多い所。
⚠	microSD カードを本製品に挿し込む場合、挿し込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
⚠	本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。 ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。 ・本体を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
❗	一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

ご使用上のご注意

- **本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。**
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- **事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。**
- microSD カードの抜き挿しを行う際は、必ず車両キースイッチを OFF にし、本製品の LED が完全に消灯したことを確認後、microSD カードを抜いてください。microSD カードへのデータ書込み中および読込み中に microSD カードの抜き挿しを行うと、データ破損やデータ消失、microSD カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSD カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- **本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。**
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画を保存することをおすすめします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面の表示を行わない、または録画できなくなる場合があります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- 本製品の動作中、本体表面が熱くなることがありますが異常ではありません。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- リヤガラスにスモークフィルムが貼られた車両（純正プライバシーガラス装着車除く）や夜間の明かりがない場所などでは、後方の道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。
- 弱電界地域では地上デジタルテレビ放送が映らなくなる場合があります。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューワソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品にはお買い上げの日から 3 年間の製品保証がついています。（ただし microSD カード、両面テープ、本体内蔵バッテリー等の消耗品およびその他付属品は保証の対象となりません。）
- 本製品は動作安定性向上のため、ソフトウェア（ファームウェア）のアップデートプログラムを弊社ホームページで公開する場合があります。定期的に弊社ホームページをご確認いただき、常に最新のバージョンでのご使用を推奨します。※アップデートプログラムのダウンロードにかかる通信費やアップデートに関する作業代はお客様のご負担となります。
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は DC12V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行なっておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

microSD カードの取り出し方について

microSD カードを取り出すときは、車両キースイッチを OFF にして、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。

microSD カードを
軽く押し込み、

少し飛び出してきたら
引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側にmicroSDカードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

⚠ 注意

- **本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SDカードスロット周辺、SDカードは特に高温になりやすいため、触れる際はご注意ください。**
- **本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）でmicroSDカードの抜き挿しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キースイッチをOFF後、本製品のLEDが完全に消灯したことを確認し、microSDカードの抜き挿しを行なってください。**

※駐車監視モード動作中は駐車監視モードを終了させ、取り出しを行なってください。

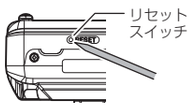
- **microSDカードは駐車監視モードなどの長時間録画を行うと早めの交換が必要になります。**
- **付属または弊社別売オプション以外のmicroSDカードの動作保証は致しかねます。**

リセットスイッチについて

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際は本体のリセットスイッチを先の細い物で押して、本製品のシステムを再起動してください。

※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。

■フロントカメラ下部



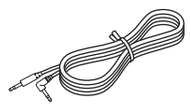
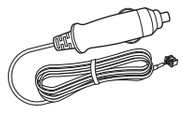
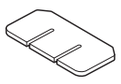
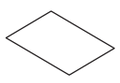
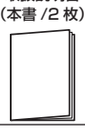
梱包内容

- ご使用いただく前に、以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。
- 万一不足している物があったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。

ZDR043 フロントカメラ

リヤカメラ

付属品

カメラケーブル（約 9m）	シガープラグコード（約 4m/1A ヒューズ内蔵）	microSD カード（32GB/1 枚）
		※出荷時本体にセットされています。
取付ステー固定用両面テープ（1 枚）	**リヤカメラ固定用両面テープ（1 枚）**	**脱脂クリーナー（1 枚）**	**取扱説明書（本書 /2 枚）**
			

※ 取扱説明書のイラストと実際の製品では形状が異なる場合があります。

⚠ 注意

- **microSD カードは消耗品であり、約 2 ～ 3 年を目安に交換することをお勧めします。**
- **microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。**
- **microSD カードは駐車監視モードなどの長時間録画を行うと早めの交換が必要になります。**
- **付属品以外の microSD カードの動作保証は致しかねます。**

別売オプション品の詳細については、弊社ホームページをご確認ください。

日時を設定する

車両に本製品を取付ける前に日時設定を行なってください。

※ GPS衛星を受信すると自動的に日時を設定します。

アドバイス

- GPS 衛星を受信すると自動的に日時が設定されますが、GPS 衛星を受信しにくい場所では、あらかじめ手動で日時を設定することをおすすめします。
- お買い上げ時やオールリセットを行なったあとなど、日時情報および録画データが保存されていない場合、本製品の電源を ON にするたびに、日時設定確認画面が表示されます。GPS 衛星を受信するか、手動で設定を行なってください。設定を行なっても繰り返し表示される場合は、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

■設定方法

1）録画画面上でスイッチを長く押込み、[メインメニュー] を表示する。
※ 60 秒間スイッチ操作を行わないと録画画面に戻ります。

2）スイッチを【▼】方向へ 1 回押し、[機能設定] を選択してスイッチを短く押込む。

3）スイッチを【▼】方向へ 3 回押し、[日時設定] を選択してスイッチを短く押込む。

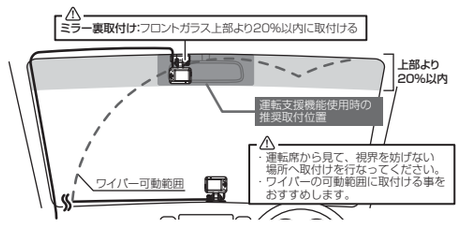
4）スイッチを【▲】または【▼】方向へ押し日付表示部または時間表示部を選択してスイッチを短く押込む。

5）スイッチを【▲】または【▼】方向へ押して設定し、スイッチを短く押込み次の項目に移動します。内容を変更後、スイッチを短く押込んで決定します。
※『分』を入力したあとの確認画面でスイッチを押した時点を 0 秒として時間が設定されます。

取付位置を確認する

本製品を取付ける際は保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認のうえ取付けを行なってください。

運転支援機能を使用する場合、ボンネットを録画映像の下部から 25%以内に収める必要があるため、フロントガラス上部・中央への取付けを推奨します。



⚠ 注意

- **フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より 20% 以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。**
  ※道路運送車両法の保安基準第 29 条（窓ガラス）、細目告示第 195 条および別添 37
- **ダッシュボードへ取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。**
  ※道路運送車両法の保安基準第 21 条（運転席）、細目告示第 183 条および別添 29
- **ワイパーの可動範囲に取付けることをおすすめします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。**
- **地デジや ETC 等のアンテナ近くには設置しないでください。**
- **衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行なってください。**
- **本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。**
- **本製品を車検シールの上に貼らないでください。**
- **車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。**
- **本製品の取付位置（フロントガラスまたはダッシュボード）により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ずGセンサー設定を見直してください。**
- **本製品のカメラ側に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。**

フロントカメラを取付ける

本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います。

1）ステーの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、取付角度を調整します。調整後に角度調整ネジを締めます。

■角度の調整

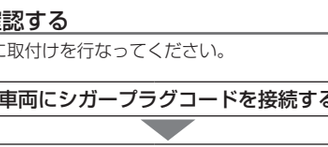
⚠ 注意

- **必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。**
- **角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。**
- **角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。**
- **定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。**

アドバイス

- 画面表示設定を [OFF] にしている場合、スイッチを押すことで液晶が 30 秒間再表示されます。
- カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズレてしまいますので、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。

2）付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。

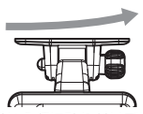


剥がれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- 必ず付属のクリーナーで貼付け面および取付ステーの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。**パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。**剥がれの原因となります。
- サンシェード等の日除けを使用する際は、フロントカメラをフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープ剥がれの原因となります。
- 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当らないよう注意してください。
- 一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- 取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- 両面テープの中央部の貼り付きが少ない場合など、両面テープ全体がフロントガラスまたはダッシュボードに貼り付いていないと剥がれることがあります。

アドバイス

- ステーを貼付ける際は片側から順に少しずつ貼り付けると、空気が入りにくくきれいに貼れます。
  ※ 一度に貼り付けると空気が入りやすくなり、ステーが剥がれやすくなります。



片側から順に貼り付けていく

- 貼付けムラが少なくなるように、貼付面裏側のステー部を手でしっかり押さえてください。

貼付け面を裏側から押さえる。

保証書

コピー不可

本書は保証規定に明示した条件のもと、無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で万一故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	ZDR043	シリアル No.	
お買い上げ年月日	お買い上げ日　西暦　　年　　月　　日		
保証期間	お買い上げ日から 3 年		
対象部分	フロントカメラ / リヤカメラ ※消耗部品および付属品は除く。		
お客様	お名前　　様 ご住所　〒　　- 電話番号（　　）　　-	★販売店	店名・住所・電話・捺印 印 ※本欄に記入または捺印が無い場合、必ず販売店様発行の領収書など、購入年月日、店名などを証明するものをお貼りください。

※保証書に販売店名、購入年月日を証明するもの、または購入証明書（納品書や領収書）が無いものは保証対象外とさせて頂きます。またお送り頂く際の送料は保証に含まれていません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ

製品のお取扱方法、修理等に関するご相談は、お買上げ頂いた販売店または下記弊社サービスセンターまでお問い合わせください。ただし、お客様ご自身での取付作業に対するサポートは行なっておりません。

0800-200-5654

受付時間　10:00～17:00

※土・日・祝日および、年末年始・夏季休暇・GW等、弊社指定期間を除く。

※非通知設定ではお繋ぎできません。恐れ入りますが電話番号の前に「186」をつけるなど、電話番号を通知しておかけください。
※携帯電話や公衆電話、050から始まるIP電話からはご利用いただけません。また、一部の光電話からもご利用いただけない場合があります。その際は下記番号よりおかけください。

0561-56-1814（有料）

株式会社コムテック
〒470-0151　愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字池上 1-1
HP：https://www.e-comtec.co.jp

第 2 版 120152-EM Ⓐ

COPY

保証規定（必ずお読みください）

保証期間	ご購入日より 3 年間
対象部品	フロントカメラ / リヤカメラ ※消耗部品および付属品は除く

1. 保証の内容

取扱説明書の内容に従った使用方法で不具合が発生した場合、この保証書に示す保証期間と条件に従って無償修理（保証修理）を受けることができます。
（以下、この無償修理を保証修理といいます）

保証修理は部品の交換あるいは製品の交換により行います。ただし保証対象製品の生産中止等により、修理、交換ができない場合は、弊社指定の他製品と交換させていただく場合もあります。
また交換された部品・製品は弊社の所有となります。
この保証規定による保証修理の対象は本書記載の対象部品に限ります。
なお、**本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。**

2. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合、お買い上げいただいた販売店にこの保証書をご提示の上、保証修理をお申し付けください。ご提示がない場合、保証修理をお受けいたしかねます。
なお、販売店がこの保証書にご購入日の証明をされていない場合は、お客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）を添付してください。

販売店に製品を送付される場合、この保証書を製品に添えてお送りください。
製品を送付される場合、宅配便など送付控が残る方法でお願いします。
なお、送料などの諸費用、引取りに伴う出張費はお客様のご負担になります。また送料着払いにて発送された場合、弊社からお客様に着払いにて返送させていただきます。あらかじめご了承ください。

3. 保証しない事項

1）保証期間内でも次のような場合には保証修理いたしません。
(1) **取扱説明書に記載されている " 警告・注意・ご使用上のお願い " その他記載内容を遵守されなかったことによる故障または損傷。**
(2) 車載用ドライブレコーダー以外の用途（例えば、住居・船舶・建設機械等）で使用されたことによる故障または損傷。
(3) 指定以外（DC12V）の電源で使用した場合、および電源の逆接続などによる故障または損傷。
(4) 弊社または弊社指定の取扱販売店以外による点検・修理・移設・分解したもの、改造したもの。
(5) お買い上げ後の落下・衝撃・水濡れ・結露などによる故障または損傷。
(6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天変地異や公害・塩害・異常電圧・事故などによる故障または損傷。
(7) 弊社指定の部品以外をご使用になったことによる故障または損傷。
(8) 本機での使用目的以外のデータを記録した microSD カード、弊社指定以外の microSD カードのご使用によって生じた記録データの消失または破損。
(9) **車両事故によって生じた記録データの消失または破損。**
(10) **使用推奨期限を経過した microSD カードをご使用になられたことによる記録データの消失または破損。**
(11) カメラレンズの汚れ、フロントガラスに付着した汚れ・水滴・高輝度光源などを介して記録したデータの見づらさ。
(12) **本製品以外の故障等に誘発された記録データの消失・破損、本製品の故障または損傷。**
(13) ご使用によって生じる外観・美観・色あせなどの外観上の現象。
(14) 取扱説明書に記載されている、温度の範囲を超えた環境下でご使用になられたことによる故障または損傷。

2）次に示すものの費用は負担いたしません。
(1) 商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失。
(2) **消耗部品**（microSD カード、本体内蔵バッテリー、1A ガラス管ヒューズ）および上記対象部分以外の付属品
(3) **本製品の使用・故障・修理に伴う二次的損害（修理品の送料、脱着工賃など）に対する補償。**

4. 保証の発効

保証書に必要事項を記入、捺印することにより有効となります。本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

5. 保証の適用

この保証書は日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。
(This warranty is valid only in JAPAN)

6. その他

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間満了後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合せください。

知っておきたいこと

● GPSとは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 衛星データ

本製品は、一旦GPS衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれにGPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離しGPS衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● GPS の測定誤差について

本製品のGPS機能は衛星の受信状態などにより、約50m程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS の速度表示について

GPSでの速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

● 液晶ディスプレイについて

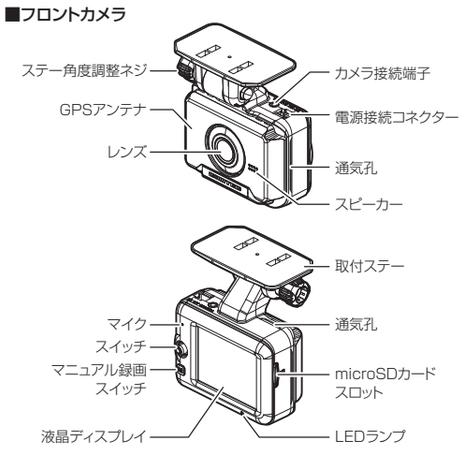
- 液晶ディスプレイは99.99%以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約75℃以上になると液晶ディスプレイの全体が黒くなったり、約−10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります

● 日時情報保持用の内蔵バッテリーについて

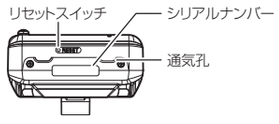
- 本製品は日時情報を保持するために本製品内部にバッテリーを搭載しています。
- 初めて使用する場合や長期未使用（6ヶ月以上）の場合は、1時間ほど走行し内蔵バッテリーの充電を行なってからご使用ください。
- 内蔵バッテリーは消耗品のため充電を行なっても日時情報がリセットされる場合は、裏表紙記載の弊社サービスセンターまでご相談ください。内蔵バッテリーの交換に関してはお預かり修理での対応となります。

各部名称

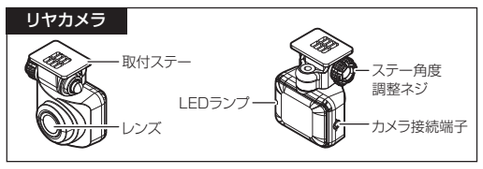
■フロントカメラ



■フロントカメラ下部



リヤカメラ



● microSDカードについて

- 付属のmicroSDカードは本機専用です。
- 本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
- 本機の対応microSDカードと付属microSDカードは以下の通りです。
  ※対応microSDカード:8GB～128GB（class10推奨）
  ※本機付属microSDカード:32GB（class10）
- **microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合で約2～3年を目安に交換することをおすすめします。また、使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。**
  ※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
- 本製品使用時は付属または別売オプションのmicroSDカードを使用してください。**弊社製品以外のmicroSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。**
- microSDカードの寿命が近くなると、起動時にmicroSDカードの交換推奨時期であることをお知らせします。microSDカードの寿命により映像の記録ができなくなる前に早めにmicroSDカードを交換することをおすすめします。
- microSDカードをフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。

● 本製品のファイルシステムについて

- 本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。通常パソコンなどで使用されているファイルシステム（FATなど）に比べ、保存データの破損が少なく、万一記録データが破損しても復元する確率が高いファイルシステムです。
- 本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによるmicroSDカードの断片化が起こらないファイルシステムとなっているため、microSDカードを定期的にフォーマットせずに使用することができます。
- 本機で記録したデータをパソコンなどで削除を行なっても、本機に戻すと復元されます。記録したデータを削除する場合は、本体の機能設定メニュー内[SDカードの初期化]より初期化を行なってください。
- パソコンなどでフォーマットを行なったmicroSDカードを本機へ挿入すると[SDカードの初期化]確認画面が表示されますので、そのまま使用する場合は初期化を行なってください。

本製品は microSD カードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSD カードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

はじめに

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して説明しています。

⚠ 警告 **この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。**

⚠ 注意 **この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。**

本書で使用している記号について

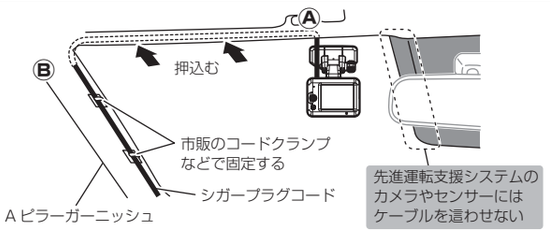
⃠	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
❗	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
⚠	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを2秒程度長めに押すことを示しています。

⚠ 警告

⃠	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
⃠	本製品を水にかけたり、水をかけたり、また濡れた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
⃠	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
❗	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。
⃠	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。
⃠	穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。

3）シガープラグコードの配線の取回しを行なってください。

- Ⓐ部はルーフライニング内に押し込んでください。
- Ⓑ部は市販のコードクランプなどで A ピラーに貼り固定してください。
  ※カーテンエアバッグには固定しないでください。カーテンエアバッグ作動不良のおそれがあります。



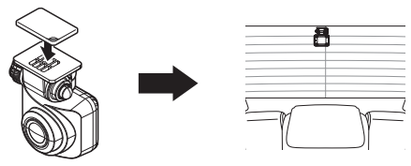
- **運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。**
- **地デジやラジオ、ワイパー、ETC 等のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。**
- **先進運転支援システムのカメラやセンサーなどへケーブルを這わせて配線を行なわないでください。**
- **ケーブルの余長を車両 ECU やブロアモーターなどの付近へ束ねないでください。各装置より離して余長処理を行なってください。**

取付方法

※ 本書ではリヤガラスへの取付けを例に説明を行います。

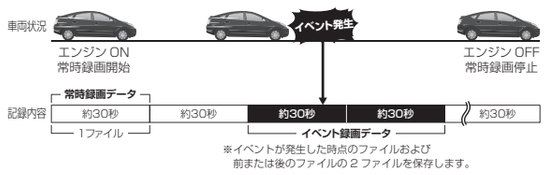
1）ステーの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、リヤカメラの取付角度を前後左右に調整します。調整後にネジを締めます。
- 仮固定する際は、市販の粘着力の弱いテープなどを使用してください。
- ステー部をリヤガラスに仮あてし、液晶の映像を確認しながらリヤカメラが地面と垂直になるように角度を調整してください。

2）付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびリヤガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、リヤガラスに貼付けます。



映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。

アドバイス

- microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから順に上書きして新しいデータを記録します。
- 起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- LED ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、メッセージを解除してください。

常時録画について

車両キースイッチを ON にした後から車両キースイッチを OFF にするまでを、常時録画データとして microSD カードに自動で記録を続けます。

※ 駐車監視常時録画データも常時録画の領域に記録されます。

イベント録画について

イベント録画には下記の 4 種類があります。

[衝撃録画] .....衝撃を検出した時点のファイルを記録
[マニュアル録画] .....スイッチ操作した時点のファイルを記録
[後続車接近録画] .....後続車が接近したことを検出した時点のファイルを記録
[駐車監視衝撃録画] .....駐車監視モード中に衝撃を検出した時点のファイルを記録

■録画データ種類部の表示について

表示	内容	表示	内容
Nor	常時録画データ	Gsn	衝撃録画データ
Man	マニュアル録画データ	Rea	後続車接近録画データ
P_Nor	駐車監視常時録画データ	P_Gsn	駐車監視衝撃録画データ

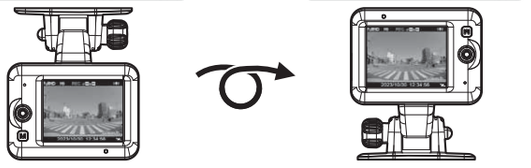
※ また録画状況により下記の内容が追記される場合があります。

表示	内容	表示	内容
Restore	復元されたデータ	c	高温または低温状態により、録画を終了したデータ
SDExit	録画中に電源OFFされたデータ	s	緊急録画停止機能により録画を終了したデータ
Rst	日時情報が初期化された状態で録画されたデータ	v	電圧低下により駐車監視モードが終了した際のデータ

■ダッシュボードに取付ける場合

本製品は内蔵の G センサーにより自動で上下を判別し、液晶表示が反転します。

フロントガラス取付けの場合　ダッシュボード取付けの場合



⚠ 注意

- **自動車の機能の妨げになる場所やエアバッグの展開範囲には取付けないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たるおそれがあります。**
- **ダッシュボードの形状や素材によっては貼り付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損するおそれがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。**

ダッシュボードへの取付けはダッシュボードの熱が伝わり、『高温注意　本体温度が高温のため 録画・再生機能を停止します。』のメッセージ表示がフロントガラスへの取付けに比べ出やすくなります。頻繁に表示される場合はフロントガラスへの取付けをおすすめします。
※メッセージ表示中は録画を行いません。本体温度が下がるまでお待ちいただき、再起動を行なってください。

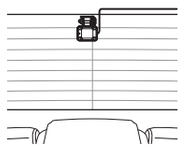
アドバイス

- 画面の上下方向は起動時に判別しているため、使用中にフロントカメラを反転しても画面は反転しません。その場合は、再起動を行なってからご使用ください。
- ダッシュボード取付けの場合はカメラケーブルの L 字側端子をフロントカメラに接続してご使用ください。

カメラケーブルを配線する

※ 本書ではフロントガラス / リヤガラスへの取付けを例に説明を行います。

1）カメラケーブルの配線の取回しを行なってください。
※運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
※地デジや ETC 等のコードと一緒に束ねないようにしてください。

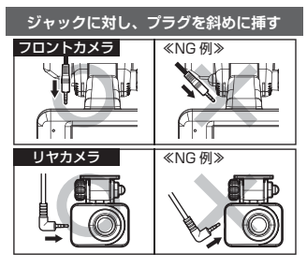


カメラケーブル施工時の注意について

カメラケーブルを抜き挿しする際はプラグ部に荷重がかからないようにまっすぐに抜き挿ししてください。

カメラとケーブルを接続する際、以下の点にご注意ください。
プラグ部破損の原因となります。

ジャックに対し、プラグを斜めに挿す



プラグ端子・配線に負荷をかける

■ダッシュボードに取付ける場合

本製品は内蔵の G センサーにより自動で上下を判別し、液晶表示が反転します。

フロントガラス取付けの場合　ダッシュボード取付けの場合

⚠ 注意

- **自動車の機能の妨げになる場所やエアバッグの展開範囲には取付けないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たるおそれがあります。**
- **ダッシュボードの形状や素材によっては貼り付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損するおそれがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。**

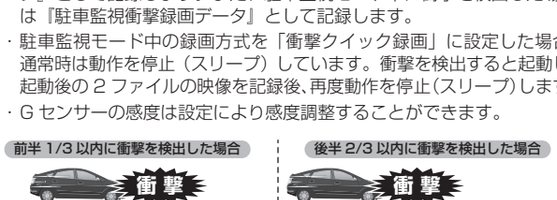
ダッシュボードへの取付けはダッシュボードの熱が伝わり、『高温注意　本体温度が高温のため 録画・再生機能を停止します。』のメッセージ表示がフロントガラスへの取付けに比べ出やすくなります。頻繁に表示される場合はフロントガラスへの取付けをおすすめします。
※メッセージ表示中は録画を行いません。本体温度が下がるまでお待ちいただき、再起動を行なってください。

アドバイス

- 画面の上下方向は起動時に判別しているため、使用中にフロントカメラを反転しても画面は反転しません。その場合は、再起動を行なってからご使用ください。
- ダッシュボード取付けの場合はカメラケーブルの L 字側端子をフロントカメラに接続してご使用ください。

録画を開始する (電源を ON にする)

車両キースイッチを ACC または ON にしてください。録画が開始されます。



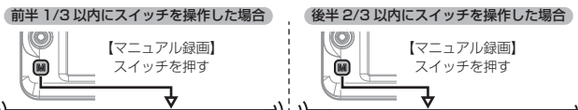
アドバイス

microSD カードチェック機能
本製品では起動時に microSD カードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。
※対処方法に関しては【メッセージ確認表】を参照ください。

リヤカメラの LED ランプについて
リヤカメラの LED ランプは起動中常に緑点灯します。点灯しない場合は接続を確認してください。

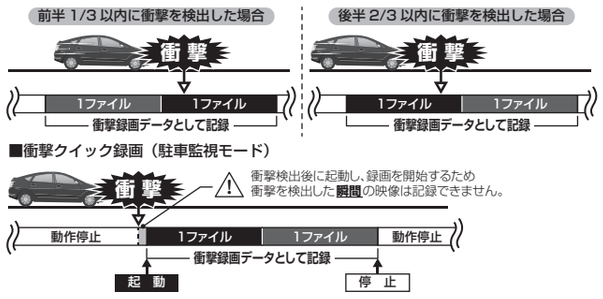
録画を終了する (電源を OFF にする)

車両キースイッチを OFF にしてください。



■衝撃録画データ / 駐車監視衝撃録画データ / 駐車監視衝撃クイック録画データ

- 本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。また、駐車監視モード中に衝撃を検出した場合は『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。
- 駐車監視モード中の録画方式を「衝撃クイック録画」に設定した場合、通常時は動作を停止（スリープ）しています。衝撃を検出すると起動し、起動後の 2 ファイルの映像を記録後、再度動作を停止（スリープ）します。
- G センサーの感度は設定により感度調整することができます。

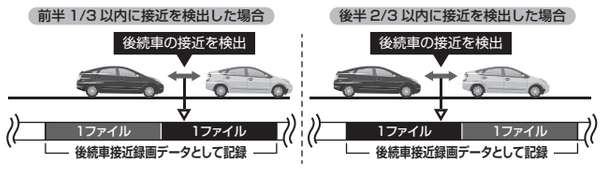


■マニュアル録画データ

- 本製品の【マニュアル録画】スイッチを押すと、スイッチを操作した時点のファイルおよび前または次のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。

■後続車接近録画データ

後続車接近お知らせ機能の録画設定を【ON】に設定した場合、後続車が自車に接近したことを検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを『後続車接近録画データ』として記録します。



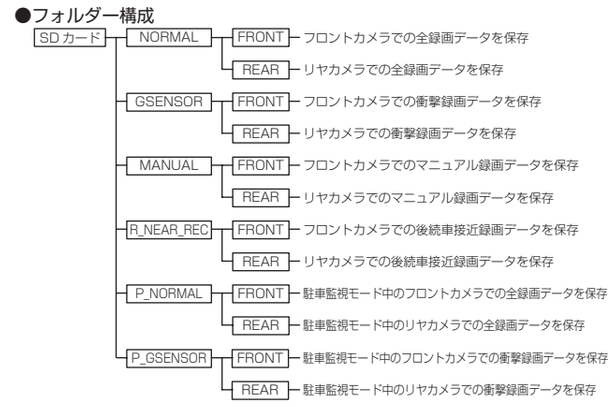
録画領域について

- microSD カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画の領域として設定されています。
- 駐車監視常時録画は常時録画の領域、駐車監視衝撃録画はイベント録画の領域に含まれます。そのため駐車監視モード中に記録上限に達した場合、通常の常時録画データまたはイベント録画データの古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

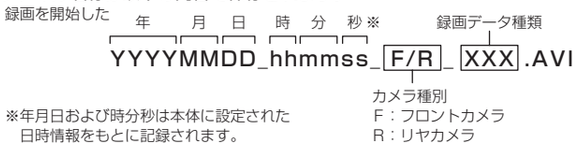
保存先フォルダー名・ファイル名について

本製品が記録したデータは、各項目ごとのフォルダーへ録画を開始した日時・録画データの種類をもとにしたファイル名で保存されます。

●フォルダー構成



●ファイル名称は以下の内容で保存されます。



※年月日および時分秒は本体に設定された日時情報をもとに記録されます。

例）2023/06/09 17:23:45 に常時録画を開始したフロントカメラ映像のフォルダー名とファイル名

NORMAL — FRONT — 20230609_172345_F_Nor.AVI
20230609_172415_F_Nor.AVI
20230609_172445_F_Nor.AVI
：

録画画面表示

	アイコン	表示内容
①	FullHD HD	録画サイズの設定を表示
②	Hi	高画質設定で記録していることを表示
③	REC RECG RECM RECD	録画種類を表示 REC：常時録画　REC G：衝撃録画 REC M：マニュアル録画 REC D：後続車接近録画
④	F H R H	HDR 機能が有効であることを表示 F：フロントカメラ　R：リヤカメラ　H：HDR
⑥		音声録音の設定 (ON 大 / ON 小 / OFF) を表示
⑦		GPS の受信状態を表示

映像を撮る

■液晶表示の切替えについて

録画画面の表示はスイッチを【◀】または【▶】方向へ**長押し**するたびに、フロントカメラの映像とリヤカメラの映像が切替わります。

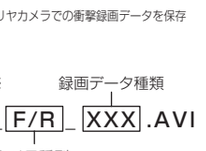
リヤカメラを接続していないと映像は切替わりません。

本体音量を調整する

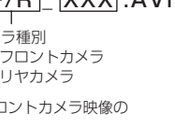
- 本体の確認音やアナウンス音、記録映像再生時の音量を [OFF/1 ～ 10] の 11 段階から選択することができます。
- 音量を OFF に設定していても、メッセージ表示時の効果音は鳴ります。
- お買い上げ時は【5】に設定されています。

■調整方法

1）録画画面上でスイッチを【▲】または【▼】方向へ**長押し**し、［音量調整画面］を表示する。



2）【▲】または【▼】で音量を調整する。
・【▲】または【▼】の**長押し**で、押している間 1 つずつ上げ下げすることもできます。



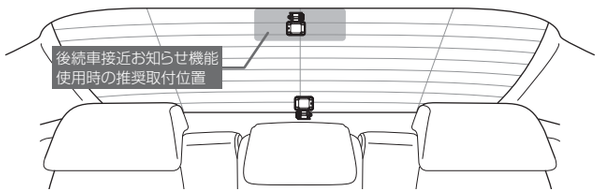
3）スイッチを短く押込むと調整した音量に設定され、録画画面に戻ります。
・一定時間操作を行わないと自動的に録画画面に戻ります。（調整した音量は保存されます）

リヤカメラを取付ける

リヤカメラは必ず下記内容をご確認のうえ、リヤガラスまたはリヤトレイ等に取付けてください。またフロントカメラ取付時の注意事項も参考にしてください。

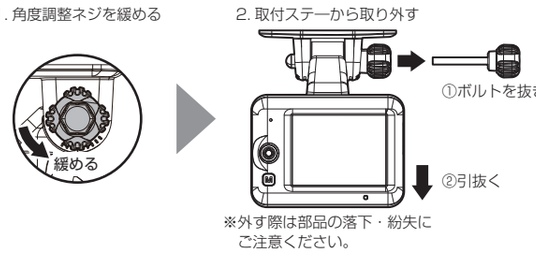
リヤカメラを取付ける前に下記内容を必ずご確認ください。

- リヤガラスが可動する車両やリヤガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リヤカメラはリヤトレイなどに取付けてください。
- リヤガラスにスモークフィルムが貼られた車両は、後方の道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 電動リヤサンシェードなど車両の装備と干渉しないことを確認の上、取付けを行なってください。
- ワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。範囲外に取付けるとリヤガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- 両面テープの貼付け面がリヤガラスの電熱線と重ならないように取付けてください。
- ラジオアンテナ付近にリヤカメラの取付けやカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
- 後続車接近お知らせ機能を使用する場合、取付位置に条件があるため、リヤガラス上部・中央への取付けを推奨します。



■本体を取外す

角度調整ネジを緩めて、本体を引抜き取外します。

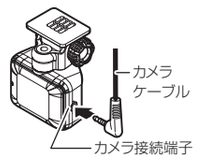


※外す際は部品の落下・紛失にご注意ください。

⚠ 注意

- **取付後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。**
- **角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。**
- **定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。**

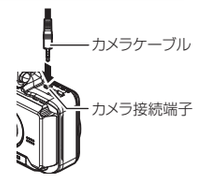
2）リヤカメラのカメラ接続端子に付属のカメラケーブルを「カチッ」と音がなるまで押込み接続します。



アドバイス

- 本体をダッシュボードに取付ける場合は、カメラケーブルの L 字側端子をフロントカメラに接続してご使用ください。
- フロントカメラをフロントガラスに取付ける場合、カメラケーブルの接続方向に指定はありません。設置する箇所の状況によって、最適な方向で取付けを行なってください。

3）フロントカメラのカメラ接続端子にカメラケーブルを接続します。



アドバイス

録画画面の表示はスイッチを【◀】または【▶】方向へ**長押し**するたびに、フロントカメラの映像とリヤカメラの映像が切替わります。

動作を確認する

■GPSの受信を確認する

車両キースイッチを ON にし、本体起動後、GPS アイコンが表示されることを確認してください。

※ GPSを受信することで本体の日時が設定されます。
※ GPSの受信には数十秒～数分かかる場合があります。

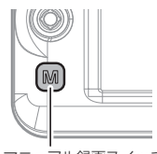
アドバイス

衛星からの信号を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かないため、GPS 機能による表示が正常に働きません。（トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・森の中など）その場合、場所を移動してから確認を行なってください。

■マニュアル録画の動作を確認する

1）LED ランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、【マニュアル録画】スイッチを押してください。

2）『ピピッ』と音が鳴り、液晶画面の『REC』表示が『REC M』に切替わり、音声および録画データを記録します。
※マニュアル録画中は LED が緑点滅します。
※音声は自動で録音されます。



アドバイス

お買い上げ時の録音設定は［ON（大）］になっています。設定で［ON（小）］や［OFF］にすることもできます。

■記録した映像を確認する

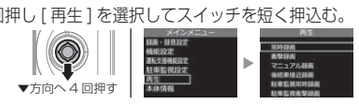
本体メインメニューから再生し、記録した映像で下記内容を確認してください。
※ スイッチを【▶】方向へ**長押し**してフロント / リヤの表示切替を行い、リヤカメラの映像も正常に記録されていることをご確認ください。

・『常時録画』内の現在の日時をもとにしたフォルダー内に、車両キースイッチ ON から OFF までの映像が正常に記録されていること。
・『マニュアル録画』内の現在の日時をもとにしたフォルダー内に、スイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること。
・録画データに音声が録音されていること。

本体で映像を再生する

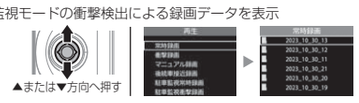
1）録画画面上でスイッチを長く押込み、[メインメニュー] を表示する。

2）スイッチを【▼】方向へ４回押し [再生] を選択してスイッチを短く押込む。



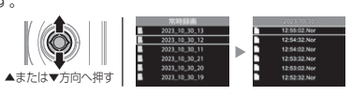
3）スイッチを【▲】または【▼】方向へ押し、映像の種類を選択してスイッチを短く押込む。

[常時録画] ..... 常時録画データを表示
[衝撃録画] ..... 衝撃検出による録画データを表示
[マニュアル録画]..... マニュアル録画スイッチ操作による録画データを表示
[後続車接近録画]..... 後続車接近お知らせ機能による録画データを表示
[駐車監視常時録画]..... 駐車監視モードによる録画データを表示
[駐車監視衝撃録画]..... 駐車監視モードの衝撃検出による録画データを表示

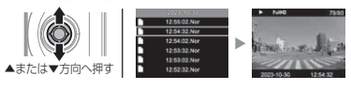


4）スイッチを【▲】または【▼】方向へ押し、フォルダーを選択してスイッチを短く押込む。

・本体での表示は、フォルダ名称を録画した年月日で表示し、ファイル名称を録画した時分秒で表示します。

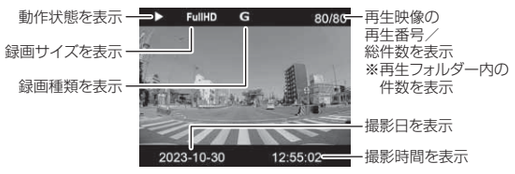


5）スイッチを【▲】または【▼】方向へ押し、再生するファイルを選択してスイッチを短く押込むと映像の再生が始まります。



6）再生終了後はスイッチを【◀】方向へ押し、設定画面から抜けることで録画画面に戻ります。

再生画面表示



[録画種類表示部内容]

非表示･･･常時録画データ　　D･･･後続車接近録画データ
G･･･衝撃録画データ　　P･･･駐車監視モード中の常時録画データ
M･･･マニュアル録画データ　PG･･･駐車監視モード中の衝撃録画データ

■再生画面での操作

スイッチ操作	短押し	長押し
押込む	再生 / 一時停止を行う	再生中のデータを最初から再生する
【▲】方向へ押す	次のデータへ進む	音量を上げる
【▼】方向へ押す	前のデータへ戻る	音量を下げる
【◀】方向へ押す	ファイルリストに戻る	フロントカメラの映像、リヤカメラの映像を切替える
【▶】方向へ押す	―	フロントカメラの映像、リヤカメラの映像を切替える

フロントカメラの映像とリヤカメラの映像を同時に表示することはできません。
1 画面ずつの切替表示となります。

パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、弊社 HP よりダウンロードできる専用ビューワソフトを使用することで、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。

※ 専用ビューワソフト以外の再生ソフトを使用すると正常に再生できない場合があります。

アドバイス

・ビューワソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS：日本語版 Windows 8.1 / 10 / 11 ※タブレット PC を除く
CPU：Intel Core i5 プロセッサ 2.7GHz 同等以上を推奨
グラフィックス：Intel HD Graphics 620 同等以上を推奨
メモリー：8GB 以上を推奨
モニター解像度：Full HD（1920 × 1080 ピクセル）以上を推奨
・パソコンの OS アップデートによりビューワソフトが正常に動作しなくなった場合は最新版のビューワソフトをダウンロードし、お試しください。

ビューワソフトを使用する前に

本体から microSD カードを抜いてください。microSD カードを抜く際は、車両キースイッチを OFF し、本体 LED の消灯を確認後、引き抜きます。

・microSD カードを取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
・挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSD カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

⚠ 注意

- **本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SD カードスロット周辺、SD カードは特に高温になりやすいため、触れる際はご注意ください。**
- **本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）で microSD カードの抜き挿しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キースイッチを OFF 後、本製品の LED が完全に消灯したことを確認し、microSD カードの抜き挿しを行なってください。**
※駐車監視モード動作中は駐車監視モードを終了後、取り出しを行なってください。

ビューワソフトを使用する

1）弊社ホームページ（https://www.e-comtec.co.jp/）のお客様サポート、ビューワソフトダウンロードページより専用ビューワソフトをダウンロードします。

2）ダウンロードしたファイルを展開します。

3）本体から抜き取った microSD カードをパソコンへ挿入します。

4）2）で展開したフォルダー内にあるビューワソフトをダブルクリックします。

5）microSD カード内の記録データが読み込まれるため、再生したいファイルを選び【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。

専用ビューワソフトの詳細に関しては
弊社ホームページをご確認ください。

運転支援機能について

- 本製品は安全で快適な運転をサポートする運転支援機能を搭載しています。
- 本機能を使用する場合は必ずキャリブレーション（補正）を行なってください。
- 本製品の運転支援機能は下記の 3 つの機能を搭載しています。

項目	内容
先行車発進お知らせ機能	先行車の発進を検出し、お知らせを行います。
前方信号お知らせ機能	前方の信号機が青信号であることを検出し、お知らせを行います。
後続車接近お知らせ機能	自車への後続車の接近を検出し、お知らせを行います。

運転支援機能をご使用する前に下記内容をご確認ください。

・運転支援機能は運転者の負担軽減を目的とし、**周辺状況、走行状態の変化を補助的にお知らせする機能**です。すべての周辺状況、走行状態の変化を判断することはできません。お知らせの有無にかかわらず、**必ず運転者が状況・状態を確認してください。**
・一部機能は GPS を受信していない状態では動作しません。
・本体の取付位置、角度、ガラスの汚れなどにより正しく動作しない場合があります。
・画像情報を基に動作するため、**天候（雨・雪・濃霧など）、逆光などにより認識が行えずお知らせできない場合や、先行車や後続車、信号機以外の周辺物や景色の変化などでもお知らせを行う場合があります。**
・運転支援機能作動時の表示画面は録画ファイルに記録されません。
・画面表示が [OFF] の場合、メッセージ画面表示は行いません。

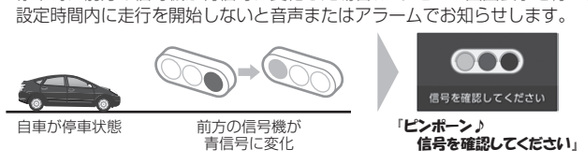
先行車発進お知らせ機能

停車時に前方の車両の発進を検出した場合、メッセージ画面表示を行い、設定時間内に走行を開始しないと音声またはアラームでお知らせします。

・自車が停止状態の時のみ動作します。
・先行車との距離、位置や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
・画像情報を基に動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行う場合があります。
・先行車の形状や色により、正しく動作しない場合があります。
・画面表示設定が［OFF］の場合、メッセージ画面表示は行いません。

前方信号お知らせ機能

停車時に前方の信号機が青信号に変化した場合、メッセージ画面表示を行い、設定時間内に走行を開始しないと音声またはアラームでお知らせします。



・自車が停止状態の時のみ動作します。
・信号機との距離、位置や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
・画像情報を基に動作するため、信号機以外の周辺物や景色の変化でも前方信号お知らせを行う場合があります。
・画像情報内に複数の信号機が存在する場合、自車進行方向以外の信号機をお知らせする場合があります。
・信号機の種類、色、明るさにより、正しく動作しない場合があります。
・矢印信号などは検出できません。
・画面表示設定が［OFF］の場合、メッセージ画面表示は行いません。

後続車接近お知らせ機能

・設定した速度以上で走行中に、後続車が設定した距離以内に設定した秒数以上接近したことを検出した場合、メッセージ画面表示を行い、設定時間経過すると音声またはアラームでお知らせします。
・設定を変更することにより、後続車接近録画データとして保存することもできます。

・GPS を受信していない状態では動作しません。
・自車および後続車が各設定内容と一致した時のみ動作します。
・後続車との距離、位置や車線幅、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
・**夜間では後続車のヘッドライトの光量により車両位置が判別できず、接近お知らせを行うことができません。**
・画像情報を基に動作するため、後続車以外の周辺物や景色の変化でも接近お知らせを行う場合があります。
・後続車の形状や色により、正しく動作しない場合があります。
・画面表示設定が［OFF］の場合、メッセージ画面表示は行いません。

キャリブレーションを行う

運転支援機能を使用する場合は必ずキャリブレーションを行なってください。運転支援機能が正常に機能しない場合があります。

・**キャリブレーションは他の車両の通行の妨げにならない安全な場所で行なってください。またなるべく平坦な場所で行なってください。**
・**運転者は走行中の操作を絶対に行わないでください。必ず停車した状態で操作を行なってください。**

キャリブレーション方法

1）録画画面上でスイッチを長く押込み、[メインメニュー] を表示する。

2）スイッチを【▼】方向へ２回押して [運転支援機能] を選択してスイッチを短く押込む。

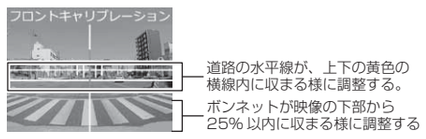
3）スイッチを【▲】または【▼】方向に押し、[フロントキャリブレーション] または［リヤキャリブレーション］を選択してスイッチを短く押込む。

※フロントキャリブレーションを選択した場合

4）［フロントキャリブレーションを行う場合］または［リヤキャリブレーションを行う場合］を参考にキャリブレーションを行なってください。

フロントキャリブレーションを行う場合

1）フロントカメラの角度を調整し、下記範囲内に収まる様に上下方向の調整を行います。
・道路の水平線が上下の黄色の横線内に収まる
・ボンネットが映像の下部から 25% 以内に収まる



2）フロントカメラの向きの調整およびスイッチを【▲】【▼】方向に押し、赤色の縦線が車線の中心に合うように左右方向の調整を行います。

3）手順 1、2 の調整後、スイッチを短く押込み完了です。

リヤキャリブレーションを行う場合

1）リヤカメラの取付向きを調整し、黄色の縦線が車線の中心に合う様に左右方向の調整を行います。
・道路の中央を黄色の縦線に合わせる。

2）スイッチを【▲】【▼】方向に押し、赤色の横線が道路の水平線に合うように調整を行います。

3）手順 1、2 の調整後、スイッチを短く押込み完了です。

設定方法

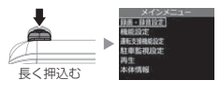
本製品の設定は、本体のメインメニューから変更を行うことができます。

［おまかせ録画］設定を変更した際は microSD カードの内容をすべて初期化します。録画データが必要な場合は、必ずパソコンに保存してください。

設定画面での操作方法

例：おまかせ録画の設定を【おすすめ】に設定変更するには・・・

1）録画画面上でスイッチを長く押込み、設定画面の [メインメニュー] を表示する。



2）[録画・録音設定] が選択されているのでスイッチを短く押込む。

3）［おまかせ録画］が選択されているのでスイッチを短く押込む。

4）[SD カードの初期化] 確認画面が表示されるので、初期化しても問題がなければスイッチを短く押込む。

5）スイッチを【▲】方向へ 1 回押し [おすすめ] を選択する。

6）スイッチを短く押込むと変更が決定され、項目選択画面に戻る。

7）スイッチを【◀】方向へ**長押し**し、設定画面を抜けると microSD カードの初期化が開始される。
・録画画面に戻らず続けて別項目を設定することもできます。

8）初期化完了後、録画画面に戻ります。

設定一覧

表内の【太字】は初期設定を示します。

録画・録音設定

項　目	項目説明	設定値	設定内容
おまかせ録画設定	記録する映像の録画サイズ、フレームレートを設定します。	おすすめ	Full HD（1920x1080）、17.5fps で記録を行います。
		【キレイ】	Full HD（1920x1080）、27.5fps で記録を行います。
		ロング	HD（1280x720）、17.5fps で記録を行います。
リヤカメラ上下反転設定	リヤカメラで撮影する映像の上下方向を設定します。	**【標準】**	取付ステーを上向きで取付けを行なった際に設定します。
		反転	取付ステーを下向きで取付けを行なった際に設定します。
録音設定	記録する映像に音声の録音を行うか設定します。	OFF	音声の録音を行いません。
		ON（小）	小さめの音量で音声の録音を行います。
		【ON（大）】	大きめの音量で音声の録音を行います。

機能設定

項　目	項目説明	設定値	設定内容
G センサー設定	衝撃を検出する感度を前後・左右・上下それぞれ設定します。	OFF	衝撃検出での録画を行いません。
		0.1G～**【0.6G】**～1.0G	0.1G（敏感）～1.0G（鈍感）の設定した感度で衝撃を検出し録画を行います。
緊急録画停止設定	緊急録画停止機能が作動する衝撃感度を設定します。 ※緊急録画停止機能に関しては右記をご確認ください。	OFF	強い衝撃を検出しても録画を停止しません。
		1.1G～**【1.5G】**～2.0G	1.1G（敏感）～2.0G（鈍感）の設定した感度で衝撃を検出し録画を停止します。
画面表示設定	録画モード中の液晶ディスプレイの表示内容を設定します。	OFF	液晶ディスプレイの表示を行いません。スイッチを押込んだ時のみ、液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。
		時計	時計とカレンダーを常に表示します。スイッチを押込むと 30 秒間録画映像を表示します。
		【速度連動】	起動後速度 10km/h 以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示になります。停車後も非表示のままとなりますがスイッチを押込むことにより、次回 10km/h 以上で走行するまでの間、表示を行います。
		ON	液晶ディスプレイを常に表示します。
日時設定	本製品の日時を設定します。	―	―
SD カードの初期化	microSD カードの録画データを消去し初期化を行います。	―	―
工場出荷状態に戻す	本製品に記録された**録画データおよび設定情報をすべて消去**します。	―	―

駐車監視設定

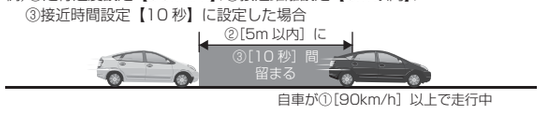
項　目	項目説明	設定値	設定内容
駐車監視モード	駐車監視モードの設定をします。	**【OFF】**	駐車監視モードを設定しません。
		ON	駐車監視モードを設定します。
駐車監視録画方式	駐車監視録画方式を設定します。	衝撃クイック	駐車監視モード中、衝撃録画のみ記録します。
		【常時・衝撃】	駐車監視モード中、常時録画および衝撃録画の記録を行います。
		タイムラプス	駐車監視モード中、1 秒に 1 枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録を行います。
駐車監視衝撃感度	駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を設定します。	0.02G ～ **【0.08G】** ～ 0.3G	設定した感度で衝撃を検知します。（0.02G 単位で設定可能）
駐車監視録画時間	駐車監視モードの動作時間を設定します。	**【30 分】**～24 時間	設定した時間で駐車監視モードを停止します。（30 分、1・3・6・9・12・24 時間で設定可能）
		常時 ON	駐車監視モードを常時 ON します。
駐車監視録画停止電圧	駐車監視モードを停止する車両バッテリーの電圧を設定します。	11.7V ～ **【12.2V】**	設定したバッテリー電圧で駐車監視モードを停止します。（0.1V 単位で設定可能）

運転支援機能設定

項　目	項目説明	設定値	設定内容
フロント キャリブレーション	―	―	フロントカメラのキャリブレーションを行います。
リヤ キャリブレーション	―	―	リヤカメラのキャリブレーションを行います。
先行車発進お知らせ			
お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。	**【OFF】**	先行車発進お知らせを行いません。
		音声	先行車発進お知らせを音声で行います。
		アラーム	先行車発進お知らせをアラームで行います。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	検出時お知らせ	前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示と同時にお知らせを行います。
		【+3 秒お知らせ】	前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示から 3 秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
		+5 秒お知らせ	前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示から 5 秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
前方信号お知らせ			
お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。	**【OFF】**	前方信号お知らせを行いません。
		音声	前方信号お知らせを音声で行います。
		アラーム	前方信号お知らせをアラームで行います。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	検出時お知らせ	青信号を検出し、メッセージ画面の表示と同時にお知らせを行います。
		【+3 秒お知らせ】	青信号を検出し、メッセージ画面の表示から 3 秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
		+5 秒お知らせ	青信号を検出し、メッセージ画面の表示から 5 秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
後続車接近お知らせ			
お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。	**【OFF】**	後続車接近お知らせを行いません。
		音声	後続車接近お知らせを音声で行います。
		アラーム	後続車接近お知らせをアラームで行います。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	検出時お知らせ	後続車の接近を検出し、メッセージ画面の表示と同時にお知らせを行います。
		【+3 秒お知らせ】	後続車の接近を検出し、メッセージ画面の表示から 3 秒間後にお知らせを行います。
		+5 秒お知らせ	後続車の接近を検出し、メッセージ画面の表示から 5 秒間後にお知らせを行います。
録画設定	後続車の接近を検出時に録画を行うか設定します。	**【OFF】**	後続車の接近を検出しても録画を行いません。
		ON	後続車の接近を検出すると［後続車接近録画データ］として録画を行います。
走行速度設定	お知らせおよび録画を行う自車の走行速度を設定します。	50 ～ **【90】** ～ 100km/h	設定速度以上で走行時にお知らせを行います。
接近距離	お知らせおよび録画を行う後続車の接近距離を設定します。	**【5m 以内】**	後続車が 5m 以内に接近時にお知らせを行います。
		10m 以内	後続車が 10m 以内に接近時にお知らせを行います。
接近時間	お知らせおよび録画を行う後続車の接近時間を設定します。	5 秒	後続車が［接近距離設定］の設定距離以内に 5 秒留まるとお知らせを行います。
		【10 秒】	後続車が［接近距離設定］の設定距離以内に 10 秒留まるとお知らせを行います。
		15 秒	後続車が［接近距離設定］の設定距離以内に 15 秒留まるとお知らせを行います。

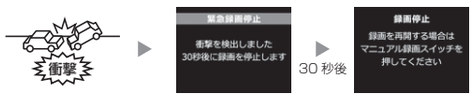
◇後続車接近お知らせ機能の設定動作イメージ

例）①走行速度設定【90km/h】、②接近距離設定【5m 以内】、
③接近時間設定【10 秒】に設定した場合



緊急録画停止設定について

・緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 30 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
・衝撃を検出する感度を [OFF/1.1G（敏感）～ 2.0G（鈍感）] から選択できます。
・お買い上げ時は【1.5G】に設定されています。



マニュアル録画中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

アドバイス

事故にあった際に...
本製品は microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。
そのため事故後 microSD カードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場で修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。
万一、事故に遭遇した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし microSD カードを抜く、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをお勧めします。

■録画を再開する場合

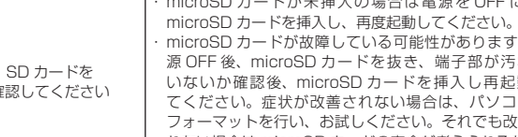
緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。

①マニュアル録画スイッチを押す。
②【▲】または【▼】で「はい」を選択してスイッチを短く押込む。
③録画が再開される。

駐車監視録画設定 - タイムラプス録画について

・タイムラプス録画に設定した場合、1 秒に 1 枚の画像を記録していき、420 秒分の記録を 28 秒の映像で確認することができるように記録を行います。

■タイムラプス録画イメージ



※ おすすめ録画設定の設定により記録できる合計記録時間は異なります。詳しくは［記録時間の目安］をご確認ください。

・通常の衝撃録画と異なり、上図［録画データの時間］の前半 10 秒以内に衝撃を検出した場合は前のファイルを、［録画データの時間］の後半 20 秒以内に衝撃を検出した場合は後のファイルを衝撃を検出した時点のファイルとともに『駐車監視衝撃録画』データとして記録します。
・駐車監視モード中に電源コネクターが抜けたり、常時電源線が断線するなど予期せぬ電源 OFF の際は、録画データが短く（最大 1 秒）保存される場合があります。

駐車監視録画停止電圧設定について

ハイブリッド車で駐車監視機能を使用する場合、［駐車監視録画停止電圧］設定は初期設定［12.2V］でのご使用を推奨しています。

駐車時衝撃検出アナウンスについて

・駐車監視モード中に衝撃を検出していると、次回起動時に駐車監視モード中に衝撃があったことをアナウンスでお知らせします。
・車両キースイッチを ACC または ON 後、［駐車監視乗車キャンセル］設定時間内は、乗車時の振動による衝撃とみなし、上記お知らせは行いません。

メッセージ確認表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
SD カードを確認してください	・microSD カードが未挿入の場合は電源を OFF にし、microSD カードを挿入し、再度起動してください。 ・microSD カードが故障している可能性があります。電源 OFF 後、microSD カードを抜き、端子部が汚れていないか確認後、microSD カードを挿入し再起動してください。症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行い、お試しください。それでも改善されない場合は microSD カードの寿命が考えられるため、microSD カードの交換をおすすめします。
日時がリセットされています 日時を設定してください	日時情報がリセットされた状態で起動した際に表示されます。正確な日時で映像を記録するため日時設定を行なってください。
高温注意 本体温度が高温のため録画・再生機能を停止します	本体の動作温度範囲を超えているため、正常に動作できません。しばらく時間をおいて動作温度範囲内に戻ってから再起動し、ご使用ください。
低温注意 本体温度が低温のため録画・再生機能を停止します	
カメラケーブルの接続を確認してください	リヤカメラが正常に動作していない場合に表示されるメッセージです。カメラケーブルの抜き挿しを行なっても、症状が改善されない場合は、弊社サービスセンターまでご相談ください。
駐車中に衝撃を検知しました 録画データをご確認ください	・駐車監視録画中に衝撃を検出した際に表示されるメッセージです。（降車後 / 乗車前 3 分間に検出した衝撃は除く） ・録画データを確認する場合は、【本体で映像を再生する】を参考にメインメニュー [再生] 内の [駐車監視衝撃録画] を選択後、スイッチを押込み、その後スイッチを【▲】または【▼】方向に押し、フォルダーを選択してスイッチを押込んでください。
SD カードの交換推奨時期です 早めの交換をお勧めします	使用中の microSD カードの寿命が近づいた際に表示されるメッセージです。映像の記録ができなくなる前に早めの交換をお勧めします。

※ 上記メッセージ画面表示中は、LED ランプの橙点滅でお知らせします。

駐車監視モードについて

- 別売オプションの HDROP-14『駐車監視・直接配線コード』を使用することで、車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができます。
- HDROP-14『駐車監視・直接配線コード』接続後はメインメニューより［駐車監視モード］の設定を変更してください。接続しただけでは駐車監視モードには移行しません。
- 別売オプションの HDROP-15『直接配線コード』で接続しても駐車監視モードを使用することはできません。

アドバイス

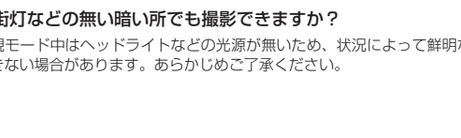
駐車監視モードを使用する場合は、メインメニューの［本体情報］から本製品への入力電圧を確認し、常時電源線の接続箇所と電圧の差が大きい場合は、常時電源線の接続確認やアース線接続箇所の変更を行なってください。

⚠ 注意

- **駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。**
- **次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。（毎日乗車しない・1 日の走行が 1 時間以下・車両バッテリーを 1 年以上使用している）**
- **駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行なってください。車両バッテリー上がりの原因となります。**
- **車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。**
- **長時間録画を行う場合、microSD カードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。**

駐車監視モード作動中の microSD カードの取り出し方について

駐車監視モード作動中の場合、車両キースイッチを OFF にしても本体は動作しています。そのため microSD カードを抜く際は、**必ずマニュアル録画スイッチを長押しして駐車監視モードを終了し、LED が消灯したことを確認後**、microSD カードを抜いてください。
※本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SD カードスロット周辺、SD カードは特に高温になりやすいため、触れる際はご注意ください。



駐車監視モード動作中（LED3 回点滅の繰り返し）
マニュアル録画スイッチを**長押し**する
駐車監視モード停止（LED 消灯）

駐車監視モードについてのご質問

Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？

A. 本製品の駐車監視モード中は電源 OFF 後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車監視モード設定中でも［駐車監視録画時間］設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が［駐車監視録画停止電圧］設定以下になると、駐車監視モードを終了します。また［駐車監視録画方式］設定を【衝撃クイック録画】に設定している場合、衝撃を未検出状態では本製品は OFF（スリープ）になります。
※ 夏の暑い日や冬の寒い日など、駐車監視モード中に本体の動作温度範囲を超えた場合も、駐車監視モードを終了します。あらかじめご了承ください。

Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまう

A.
1. ［駐車監視モード］設定が【OFF】になっていないかご確認ください。
2. 本製品は車両バッテリー保護のため、駐車監視録画停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合など、車両キースイッチ OFF 後の車両バッテリーの電圧が［駐車監視録画停止電圧］設定以下の場合やその付近の場合など駐車監視モードが作動しない場合があります。
3. 電源コードの常時電源線（黄）を、車両 ACC 線へ接続していたり、未接続だと駐車監視モードへは移行しません。
4. ［駐車監視録画方式］設定を【衝撃クイック録画】に設定している場合、衝撃を未検出状態では本製品は OFF（スリープ）になります。
5. 以下のような状態では駐車監視モードへ移行しません。
・「microSD カードを確認してください」と表示中
・「SD カードの初期化」画面表示中
・本体温度の高温または低温による動作停止中
・緊急録画停止中

Q. 駐車監視モードの作動確認を行うには？

A. 駐車監視モード作動中は本体の LED ランプが下記点滅を繰り返します。

状態	LED ランプ
駐車監視降車キャンセル中（衝撃クイック録画設定時以外）	早い緑点滅
駐車監視降車キャンセル中（衝撃クイック録画設定時）	早い橙点滅
駐車監視モード作動中（衝撃クイック録画設定時）	緑 3 回点滅
衝撃クイック録画待機中（衝撃クイック録画設定時）	橙 3 回点滅
駐車監視モード作動中に衝撃を検出	緑点滅

Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？

A. 駐車監視モード中はヘッドライトなどの光源が無いため、状況によって鮮明な映像が記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。

記録時間の目安

■ microSD カードの容量による記録時間の目安

記録時間は microSD カードの容量、おまかせ録画設定により変動します。
※ 対応 microSD カード：8GB ～ 128GB（class10 以上推奨）
※ 本製品付属 microSD カード：32GB（class10）

おまかせ録画設定	microSD カード容量				
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
おすすめ	約 30 分	約 65 分	約 135 分	約 270 分	約 545 分
キレイ	約 30 分	約 60 分	約 125 分	約 250 分	約 500 分
ロング	約 40 分	約 80 分	約 165 分	約 335 分	約 670 分

※ 太枠は付属 microSD カードを示します。

■駐車監視モード中のタイムラプス録画設定時の記録時間

・駐車監視モード設定を［タイムラプス録画］設定にした場合、おまかせ録画設定の内容により合計記録時間は可変します。
・合計記録時間は付属 microSD カード（32GB）の場合の駐車監視常時録画の記録時間になります。
・1 ファイルあたりに記録される実際の時間（記録時間）と録画データ自体の長さ（再生時間）は下記表を参考にしてください。

おまかせ録画設定	記録される実際の時間	録画データ自体の長さ	合計記録時間
おすすめ	約 420 秒	約 28 秒	約 31 時間
キレイ			約 29 時間
ロング			約 39 時間

本体を更新する

弊社ホームページより更新データをダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。

アドバイス

・更新データがある場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。（インターネット接続時のみ）
・更新方法の詳細はホームページをご確認ください。ただし更新データがない場合、掲載はありません。

本体情報を確認する

録画画面上でスイッチを長く押込み、[メインメニュー] → [本体情報] により、本製品の入力電圧とソフトウェアバージョンを確認できます。

商標について

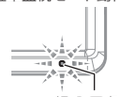
- microSDHC および microSDXC は SD アソシエーションの登録商標です。
- microSDHC ロゴ、microSDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。
- Windows はアメリカ合衆国 Microsoft Corporation のアメリカ合衆国およびその他の国における登録商標です。
- Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。
- Intel Core はアメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている各種名称や会社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

駐車監視モードの動作について

■駐車監視モードに移行する

・HDROP-14『駐車監視・直接配線コード』を接続後、［駐車監視モード］設定を【ON】に設定し、車両キースイッチを OFF にすると駐車監視モードに移行します。
・駐車監視モード動作中は LED ランプが 3 回点滅を繰り返します。
・駐車監視モード中の常時録画データは『駐車監視常時録画』データとして記録され、衝撃録画データは『駐車監視衝撃録画』データとして記録されます。

■駐車監視モード動作中



緑 3 回点滅

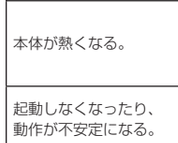
アドバイス

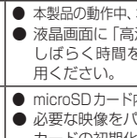
車両キースイッチ ON 前 /OFF 後各 3 分間は、乗車時 / 降車時の振動や衝撃とみなし、駐車監視衝撃検出アナウンスを行いません。
※車両キースイッチ OFF 後 3 分間は駐車監視衝撃録画データとして記録を行いません。

■駐車監視モードを終了する

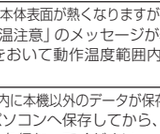
・駐車監視モードは車両キースイッチが ACC または ON になった時点やマニュアル録画スイッチを**長押し**することで終了させることができます。
・設定電圧以下になった際や［駐車監視録画時間］設定で設定した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。

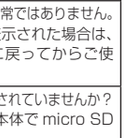
■ 駐車監視モードを手動で終了する場合





■ 駐車監視モードが自動的に終了される場合





ワンタイム駐車監視モード機能

・通常駐車監視モード設定を【OFF】に設定していても、マニュアル録画スイッチを**長押し**することで、一時的に駐車監視モードを ON にすることができます。
・車両キースイッチの OFF 後でも、マニュアル録画スイッチを**長押し**した時点から駐車監視モードを開始することができます。
・外出先でのみ駐車監視モードを使用したい場合などにご使用することをおすすめします。

アドバイス

・「ワンタイム駐車監視モード」による駐車監視モードも、通常の駐車監視モード時の詳細設定が反映されます。
・「ワンタイム駐車監視モード」は、車両キースイッチを ON にし、本体の電源を ON にすることで解除され、［駐車監視モード設定］による設定に戻ります。

駐車監視モードパス機能

・通常駐車監視モード設定を【ON】に設定していても、マニュアル録画スイッチを**長押し**することで、一時的に駐車監視モードを OFF にすることができます。また駐車監視モード中に操作を行うことで、駐車監視モードを終了することができます。
・機械式立体駐車場や振動の多い場所、風の強い日など、本製品が衝撃を検出してしまうような場所へ駐車する際にご使用することをおすすめします。

アドバイス

「駐車監視モードパス機能」は、車両キースイッチを ON にし、本体の電源を ON にすることで解除され、［駐車監視モード設定］による設定に戻ります。

付録

よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。
LED ランプが点灯しない。	● 電源コードのヒューズが切れていませんか？ ● 接触不良や断線などしていませんか？
GPS 衛星を受信しない。	● フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？ ● 本体カメラ側に電波を遮断する物がありませんか？
記録した映像を削除したいのですが？	● SD カードの初期化を行うことで映像を削除することができます。※選択して削除することはできません。
事故の衝撃映像が保存されていない。	● 事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためマニュアル録画スイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	● ［おすすめ録画 ］の設定を変更することで記録時間を変更することができます。 ※上記設定を変更すると microSD カードが初期化されます。
microSD カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	● microSD カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
microSD カードに録画データが保存されていない。	● microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。約 2 ～ 3 年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。
本体が熱くなる。	● 本製品の動作中、本体表面が熱くなりますが異常ではありません。 ● 液晶画面に「高温注意」のメッセージが表示された場合は、しばらく時間をおいて動作温度範囲内に戻ってからご使用ください。
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	● microSD カード内に本機以外のデータが保存されていませんか？ ● 必要な映像をパソコンへ保存してから、本体で micro SD カードの初期化を行なってください。
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	● 事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
microSD カードがパソコンで認識されない。	● お使いの SD カードリーダーは SDHC に対応していますか？付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。

LED ランプ確認表

本体動作時の LED ランプの確認表です。

フロントカメラ LED 表示	リヤカメラ LED 表示	本体動作	内容
緑点灯	緑点灯	録画中	録画中
緑点滅		録画中	・イベント録画中 ・駐車監視モード中の衝撃録画中
早い緑点滅		録画中	駐車監視降車キャンセル中（衝撃クイック録画設定時以外）
緑 3 回点滅		録画中	駐車監視モード動作中（衝撃クイック録画設定時以外）
早い橙点滅	消灯	録画停止	駐車監視降車キャンセル中（衝撃クイック録画設定時）
橙 3 回点滅		録画停止	駐車監視モード動作中（衝撃クイック録画設定時）
橙点灯	緑点灯	録画停止	・起動中　・設定モード中　・再生モード中 ・本体温度の高温または低温による動作停止中
橙点滅		録画停止	・メッセージ表示中　・緊急録画停止中
緑・橙交互点滅		録画停止	本体ソフトウェアのアップデート中

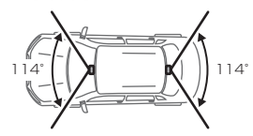
製品仕様

電源電圧		DC12V	
最大消費電流		通常時：350mA 以下 / スーパーキャパシタ充電時：580mA 以下	
動作温度範囲		-10℃～ 60℃	
カメラ		フロントカメラ	リヤカメラ
	撮像素子	1/2.7 型 CMOS センサー	1/2.7 型 CMOS センサー
	総画素数	200 万画素	200 万画素
	有効画素数	最大 200 万画素	最大 200 万画素
	レンズ画角	水平 114°垂直 59°（対角 139°）	水平 114°垂直 59°（対角 139°）
	F 値	F2.1	F2.1
	レンズ材質	ガラス	ガラス
記録映像サイズ		FullHD（1920 × 1080）／ HD（1280 × 720）	
録画画質		おすすめ：平均 10Mbps ／キレイ：平均 12Mbps ／ロング：平均 8Mbps	
GPS		○	
G センサー		○（0.1G ～ 1.0G：0.1G 単位で設定可）	
記録方式		常時録画／イベント録画（衝撃録画／マニュアル録画（手動録画）／後続車接近録画）	
録画ファイル構成		30 秒単位	
音声録音		ON/OFF 可能	
フレームレート		27.5fps ／ 17.5fps ／ 1fps（タイムラプス録画※駐車監視中のみ）	
映像ファイル形式		AVI（MPEG-4 AVC ／ H.264）	
記録映像再生方法		専用ビューワソフト ※ Windows8.1/10/11 専用（タブレット PC 除く）	
		本体液晶	
記録媒体		microSD カード（付属：32GB/class10） 8 ～ 128GB 対応　class10 推奨	
液晶サイズ		2.0 インチフルカラー TFT 液晶	
本体サイズ		フロントカメラ	リヤカメラ
		67(W)×49.3(H)×30.9(D)/mm	39(W)×29(H)×28.2(D)/mm
	取付ステー装着時	67(W)×77.5(H)×30.9(D)/mm	39(W)×47.7(H)×28.2(D)/mm
重量		108.9g	28.8g

※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

■カメラ画角イメージ

■ 水平画角



■ 垂直画角